

合格通知書の交付は10時から社会科教室で行われました。2月28日(水)に令和6年度入学者選抜選考試験の合格発表が行われました。ネット上で結果を事前確認できない受検生以外は、既に合格が確認されている方への交付となりましたので、学力検査当日とは一変して喜びと安堵の表情あふれる面もちの合格者で会場があふれていました。一ヶ月後には42期生399名の新入生を迎え入れることとなります。合格者には高校生活への良いスタートが切れるように、しっかりと準備をして入学式を迎えてほしいと思います。

朝方に降った雪は小雨となり、入場を迎えた頃には止んで雲の切れ間には明るさを感じるようになりました。3月8日(金)、令和5年度第39回卒業式が挙行されました。日に日にくたびれかけていった制服も、今日この日はやはり最後の務めを果たそうと、卒業生たち一人ひとりを立派に纏ってくれていました。昨年度までの卒業式は、コロナによる時間短縮を余儀なくされていましたが、今年度はお陰様で本来の形式で実施することができました。卒業証書授与では、クラス代表一人ひとりに対して証書を授与させていただきました。学校長の言葉では、私から卒業生に対して、「どんな困難にも挫けず、未来を切り開き、世界を平和に導ける人になってほしい」、「常に『感謝の念』を持ち、自分の人生を豊かなものにしてほしい」の2点のお願いをさせていただきました。PTA会長からは、保護者代表として卒業生に対して、「これまで育ててくれてありがとう」とのお言葉がありました。同窓会会長からは、僧としての自己の修行の辛い経験から、卒業生に対して「3年間の様々な経験を活かして今後豊かな人生を築いていってほしい」旨のお話がありました。送辞、答辞、記念品贈呈の後には、校歌斉唱により一旦式は閉められ、卒業生による企画で思い出を振り返った後に、クラスごとの退場となりました。県議会議員はじめご来賓の方々からは、「良識ある態度の大船高校の生徒たちの姿を改めて拝見でき有り難い限りであった。感動をいただいた。」とお言葉をいただきました。私は、39期生の生徒たちと同時に校長として着任し、この3年間一緒に歩んできましたので、この日を迎えられたことに安堵の思いとともに感謝の気持ちで一杯となりました。39期生の皆さん、大高生として3年間立派に学校生活を送ってくれて有難うございました。保護者の皆様におかれても、3年間に渡り本校にご支援ご協力いただき心から感謝申し上げます。卒業後も大船高校をどうぞ見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

今年度の最後の式は、各教室へのライブ配信で行われました。3月25日(月)に修了式と離任式が行われました。修了式では、私から生徒たちに対して、今年度のテーマ「挑戦」の通りしっかりと教育活動に取り組み、新たな伝統を本校に築いてくれたことへの感謝をお伝えさせていただきました。離任式では、今年度離任される先生方から一言ずつご挨拶を頂きました。いよいよ令和6年度が始まります。生徒たちには学年が上がる自覚を持って新年度の始業式を迎えてほしいと思います。保護者の皆様、一年間誠に有難うございました。

令和6年3月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆